

土浦市議会議長 海老原一郎 殿

全国地方議員社会保障研修会参加報告書

日本共産党土浦市議団 久松 猛

井上圭一

4月16日から18日までの3日間、大阪社会保障推進協議会主催の「全国地方議員社会保障研修会」に参加したので以下その報告をします。会場は大阪府保険医協会MDホールで行われ、以下の日程で行われました。

16日(月)12時から15時まで テーマ「生活保護制度をめぐる動きと実務上の論点、自治体で取り組んでほしいこと、・・・理論編・実践編」 講師は小久保哲郎(弁護士・生活保護問題対策全国会議事務局長)

16日(月)15時15分から18時まで テーマ「女性と子どもの貧困の現状と背景、自治体の課題とは何か」 講師は芦田麗子(神戸親和女子大学教員)

17日(火)9時半から12時半まで テーマ「都道府県単位化後の国保のしくみと自治体での課題を考える」 講師は寺内順子(大阪社会保障推進協議会事務局長)

17日(火)13時半から17時まで テーマ「地方財政の基本と財政分析のポイントを学ぶ」
講師は鷹山 新(大阪教育大学教授)

18日(水)9時半から12時半 テーマ「日本一の学校給食はなぜ可能なのか・・・宝塚市給食から自治体行政を考える」 講師は高田輝夫(宝塚市教育委員会学事課長)

18日(水)13時半から17時まで テーマ「第7期介護保険制度の内容と課題」
講師は日下部雅喜(大阪社会保障推進協議会介護保険対策委員長)

会場は100人ほどが入れる中規模ホールでしたが、用意された椅子はすべて埋まり、文字通り全国から地方議員が集まりました。一つひとつのテーマごとの時間はたっぷり取られ、講師の講義の後はフロアからの質問や意見の交換など熱気にあふれたものとなったと感じました。